

うかびあそぶはな さてまた さまようおちば
花浮遊、然てまた、落葉彷徨

- 植物のアップサイクルプロジェクト in 東山動植物園 -

橋本雅好研究室 企画 大竹柚



●背景

3年生の総合企画実習で、星が丘テラスの植物を管理するガーデンデザイナーの柵山直之さん(MAY GARDENS)が行う東山動植物園での落ち葉アートの活動に参加をした。植物園で行う落ち葉アートは、廃棄される植物をもう一度楽しむという目的に加え、星が丘テラスから植物園への誘導を行う目的があることを知った。そこで、廃棄される植物を生まれ変わらせ、星が丘地区と植物園の往来を活性化させる企画に興味を持った。

●春の展示について

『花浮遊と花習慣 - floating flower & flower habit -』～フローティングフラワーを通して世界の花習慣を学ぼう～

期間：2023/5/17(水)～5/28(日) 9:00～16:50 場所：東山動植物園(洋風庭園・星が丘広場)、星が丘テラス(イベント広場)

○展示内容

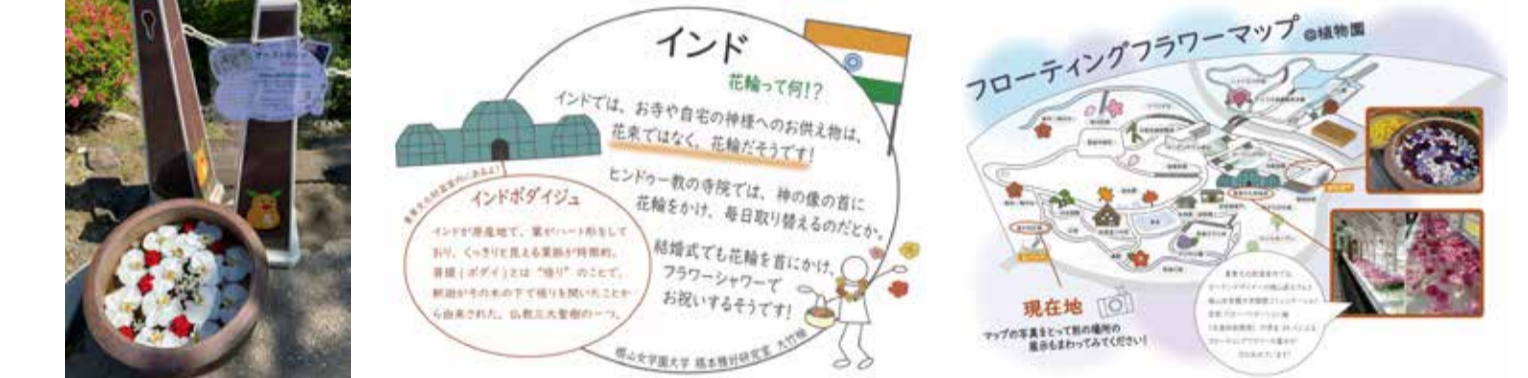
生花店に売っている切り花だけでなく、花壇の整理で間引かれる根付きの花も使用でき、5月の猛暑でも花にやさしい“水”を使用する展示方法であるという点から、フローティングフラワー(花を水に浮かべて飾る)の展示を行う。東山動植物園(植物園)を主なフィールドとし、星が丘テラスでも、自宅でも実施したくなる展示を行う。

○東山動植物園での展示

フローティングフラワーがインドのおもてなし習慣であることを切り口に、植物園にある世界の植物と合わせて、世界の魅力的な花の習慣を紹介する展示を行った。



展示をしているフローティングフラワーの水鉢の隣に、園内の世界の植物を紹介するキャプションを設置した。他にもフローティングフラワーを設置している場所を記した園内マップの作成も行った。



●スケジュール

本企画では、東山動植物園や星が丘テラスとの打ち合わせに加え、同時期に東山動植物園で、植物を使った企画を実施される柵山直之さんとの意見交換や企画内容の共有を行った。

3月	・柵山直之さん打ち合わせ①	8月	・展示場所視察 ・(東山動植物園 植物会館展示室)
4月	・東山動植物園打ち合わせ① (春の展示) ・展示場所視察 (東山動植物園、星が丘テラス)	9月	・柵山直之さん打ち合わせ② ・レイアウト図、イメージ図、 キャプション作成
5月	・東山動植物園打ち合わせ② (春の展示) ・星が丘テラス花冠ワークショップ参加 ・展示に使用する花の調達 ・春の展示 開催	10月	・東山動植物園打ち合わせ④ (秋の展示) ・落ち葉集め、展示物作成
6月	・春の展示の反省とまとめ	11月	・秋の展示(落ち葉展)開催 ・落ち葉拾い&アート体験 開催 ・東山動植物園 落ち葉アート参加
7月	・東山動植物園打ち合わせ③ (秋の展示)	12月	・秋の展示の反省とまとめ

●目的

本企画では、ロスフラワーや落ち葉などの廃棄される植物を人々の楽しみとして生まれ変わらせながら、植物の新しい楽しみ方や可能性を考え、発信することを目的とする。また、企画を通して、主なフィールドである東山動植物園の魅力を発信するとともに、東山遊園として連携する東山動植物園と星が丘テラス(ポタニカル構想が進む)を植物を通してつなぐ。

●秋の展示について

『落ち葉展 - 植物園の色々な落ち葉で芸術・装飾・学習 -』

期間：2023/11/21(火)～5/28(日) 9:00～16:50(紅葉ライトアップ期間のみ20:30まで) 場所：東山動植物園(植物会館展示室)

○展示内容

柵山直之さんとの意見交換を行い、舗装された道に落ちるとゴミのように扱われてしまう落ち葉を、「宝物」のように拾い集め、落ち葉アートや落ち葉装飾として楽しむことを発信する展示を行う。

○落ち葉で装飾したインテリア空間

展示室内にインテリア空間を作り、植物園に落ちる豊富な種類の落ち葉で装飾する。装飾の一つである落ち葉ブーケは、春の展示で余った花をドライフラワーにしたものと、落ち葉で作った花を合わせて作成することで、新しい植物の楽しみ方を発信する。



○落ち葉アートとフローティングフォーリンリーブス

春の展示で行ったフローティングフラワーの落ち葉版であるフロートフォーリンリーブスという新しい落ち葉の楽しみ方を考え、落ち葉アートとともに飾った。



●広報

春の展示では、星が丘テラスでの展示と告知を行った。また、展示期間中に取材を受け、中日新聞市民版(2023年5月19日)に掲載された。秋の展示では、東山動植物園のパンフレットやHP、星が丘テラスでのイベント受付やキャプション設置などで広報活動を行った。



●お客様の声(インタビュー・アンケート調査)

春の展示では、自宅でも植え替え前の花でやってみたい、園内の世界の植物と花習慣が知れて面白い、浮かべた花のデザインが素晴らしい、素敵なのをありがとう、などの声をいただいた。

秋の展示では、落ち葉の新しい楽しみ方を知ることができた、落ち葉を水に浮かべる飾り方を真似したい、不用品でも価値があることを知った、などの声をいただいた。また、子どもの遊びとしてや老人ホームなどでも真似をしたいという声をいただき、廃棄される植物の新しい楽しみ方を発信することができたと実感した。

●概要

春と秋に植物を使った展示を行う。春には、様々な理由で廃棄される花(ロスフラワー)を使用した展示を行い、秋には、落ち葉を使用した展示を行う。春の展示では、水面に花を浮かべるフローティングフラワーの展示を行い、秋の展示では、春に集めた花を加工したものを落ち葉と組み合わせて使用することで、植物の新しい楽しみ方や、時を経ても楽しみ続ける植物の可能性を考える。

○落ち葉マップ

植物園に落ちる豊富な種類の落ち葉の魅力を発信するとともに、落ち葉を見てまわるという新しい植物園の楽しみ方を提案するため、落ち葉マップの作成を行い、展示をした。



○イベントについて

『落ち葉拾い&アート体験』(お子様対象)

開催日：2023/11/25(土) 10:00～12:00

予約方法：星が丘テラス コミュニティールーム

予約受付人数：先着10組



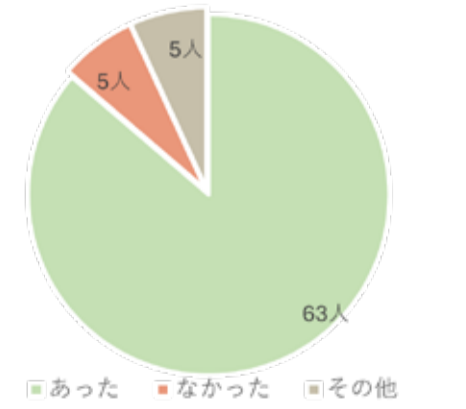
植物園アドバイザー谷口茂弘さんにご協力いただき、植物園内の落ち葉の種類や特徴を学びながら(10:00～11:00)、集めた落ち葉でアートやフローティングフォーリンリーブスの体験(11:00～12:00)ができるイベントを開催した。



●結果・まとめ

展示終了後のお客様へのインタビューやアンケート調査では、廃棄されてしまう植物を使った展示に興味を持ってくださる方が多く、新しい楽しみ方として真似したいという意見を多くいただいた。

(秋の展示の際のアンケート調査では、71名中63名の方に真似をしたいと思うものが“あった”と回答していただいた)



また、調査の内容やお客様の感想から、春と秋の展示の両方において、東山動植物園の新しい楽しみ方や植物(世界の植物や落ち葉)の魅力が伝わったことを実感した。

星が丘テラスから東山動植物園への誘導(逆もあり)という目的においては、春の展示では星が丘テラスで新しいフローティングフラワーの展示を行ったことで、星が丘テラスの展示を見て東山動植物園の展示を見に来たという声をいただき、秋のイベントでは予約受付を星が丘テラスコミュニティールームにしたことで、実現することができたと実感している。

今回の展示を通して、私たちを楽しませてくれる植物を大切に管理されている東山動植物園(植物園)やポタニカルタウン構想が進む星が丘テラスを中心に、廃棄されてしまう花や落ち葉を楽しむという取り組みが浸透してほしいと考える。